

目次

福田準之輔教授の御退任に際して……………	末岡 実 (1)
福田準之輔教授・略歴と業績……………	(4)
<hr/>	
有島武郎のことども……………	小玉 晃 一 (6)
——福田準之輔教授との交友に関連して——	
<hr/>	
有島武郎研究の課題……………	福田 準之輔 (12)
——その「内在的」な「生」について——	
『野の花』論争……………	佐々木 雅 發 (28)
——〈大自然の主観〉をめぐって——	
「世の中に片付くなんてものは殆んどありやしない」……………	佐 藤 裕 子 (44)
——『道草』論——	
芥川龍之介「舞踏会」再編……………	宮 坂 覺 (62)
——〈百老夫人〉の〈ふるまい〉をめぐって——	
ガンジスの流れに向けて……………	遠 藤 祐 (73)
——『深い河』の美津子と大津——	

ウンガレットイの短詩と山口誓子の俳句	劍持武彦 (93)
——東西短詩の交流をめぐって——	
大江健三郎「死者の奢り」論	大野登子 (108)
泊瀬部皇女と忍壁皇子に奉る歌	森朝男 (121)
——柿本人麻呂作歌注釈3——	
文治六年任子入内屏風と和歌	谷知子 (131)
中世王権と青海波	三田村雅子 (147)
——「記憶」の中の源氏物語(2)——	
和刻本『漢書』の和訓	佐藤喜代治 (163)
——『色葉字類抄』との関連において——	
鎌倉時代十四文学作品の形容詞用例数語彙表	安部清哉 (173)
方言の調査法に関する一考察	佐藤亮一 (216)
「千曲川」の方言チョームマ考	馬瀬良雄 (226)
一九九九年度 修士論文・卒業論文題目	
彙報	245
会則	247

玉 藻 第三十六号

二〇〇〇(平成一二)年五月二〇日 印刷
二〇〇〇(平成一二)年五月三〇日 発行

編集兼 フェリス女学院大学国文学会

発行人 代表者 末岡 実

印刷所 メディア・パック

〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町

六一三一二〇

電話 (〇三) 五九四七―九一三五

発行所 フェリス女学院大学国文学会

〒231-8651 横浜市中区山手町三七